

産業廃棄物の一連の処理の工程(2018年4月～2019年3月)

		※1						
		受入量		処分量				
受入	金属くず	1,505.490	切断圧縮・切断・破砕	822.225	製鋼原料(売却) M社、ほか4社	822.225		
	ガラス陶磁器くず	647.900	切断圧縮・破砕	843.800	ガラス原料(売却) J①社	834.350		
					再中間処理～安定型埋立処分(委託) T社	1.880		
					石膏原料(委託) G社	7.570		
					※2	計	843.800	
	廃プラ	340.692	切断圧縮・切断・破砕	120.235	焼却 熱回収(委託) J②社	13.580		
					RPF原料(委託) S社	17.580		
					切削 再生塩ビ(委託) R社	7.840		
					再中間処理～安定型埋立処分(委託) O社	30.335		
					安定型埋立処分(委託) C社	50.900		
				計	120.235			
木くず	23.870	切断圧縮・切断・破砕	12.675	焼却 熱回収(委託) J②社	12.675			
紙くず	194.740	切断圧縮・破砕	60.940	製紙原料(売却) I社、ほか1社	60.940			
繊維くず	0.180	切断圧縮・破砕	0.180	RPF原料(委託) S社	0.180			
がれき	2.200	破砕	16.190	再生砕石(委託) F社	16.190			
受入量	2,715.072	中間処理後の量	1,876.245	排出量	1,876.245			

※1 受入量は、産業廃棄物の種類によっては、m³をトンに換算してる。
混合廃棄物の受入があり、産業廃棄物の種類の割合は推計により行っている。

※2 処分量は、排出先での計量による合計である。受入量が少ないのは、混合廃棄物の割合、m³をトンに換算しているためである。